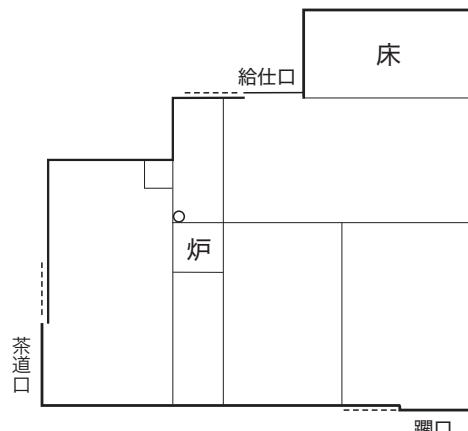


實相庵



實相庵小間



〔2月の稽古〕

【道具組】

一、初炭	盆香合
一、濃茶	茶通箱
一、後炭	唐物
一、薄茶	続き薄茶
替茶碗	



卷之三

「稽古の要点」

〔茶器〕	建水 蓋置	曲 竹引切	銘「つくり」 桜樺 席主梅の絵 中次
〔菓子器〕	菓子 〔干菓子器〕	七宝絵升形 溜塗朱松葉ヤンボ	とらや「月ヶ瀬」「志良々の浜」
〔菓子器〕	干菓子 貢盆	「下田の春」「外の濱」	「ゆべし」「巻柿」「三人静」
〔菓子器〕	火入 火入	一閑櫛形つぶ足 香炉釉	一閑櫛形つぶ足
〔菓子器〕	貢入 貢入	ベトナム製	ベトナム製
〔茶器〕	濃茶 濃茶	「祥雲の昔」「錦上の昔」	「珠の白」
〔茶器〕	薄茶 薄茶	柳桜園	柳桜園

初炭

●中柱中釘に羽根を掛ける
釣棚下段に香合を飾る。

炭斗灰器を運び、中柱に向かい、左手で羽根をとり、あつかつて左手に受け、炉正面へ。釣棚にさらに向かい、香合をとり回つて、炭斗下定位置に。

●釜は台目切ぬえに下座まで引く
●炭斗を下げるときすぐに座掃を持ちだし、道具
畳と炉の右炭斗の後も掃く。茶道口を閉める
と膝前を掃き、水張口を開け掃き出す。

盆香合

- 香合を拝見に出す時、席が中板ゆえに通常炭手前同様に中板を超えた所に出す。
- 濃茶が終わり、建水を下げ、給仕口より貢盆、干菓子を出し、茶器と替茶碗を持ち出し、水屋に下がり建水を持ち出す。
- 続薄茶

客

ハ開二二茶碗、手見物は二二、つてらつてら。

尚、3月の稽古は、広間聴松軒（残月写し）にて、「茶カフキ」を中心とした稽古を行います。

宗心宗匠絵付	阿漕焼	志野筒	赤 席主手作り	いちご裂	茄子 広州窯	仕服	余碗	替	束入
--------	-----	-----	---------	------	--------	----	----	---	----

香合	茶入
炭斗	水指
火箸	灰匙
油竹	灰器
信楽大鷺	少庵型
備前	瀬戸一重口
少庵型	茄子 広州窑